

12月議会定例会

県で県道西目屋二ツ井線荷上場バイパス事業を承認 〜早期着工・早期完成へ向けて要望〜

平成25年度12月議会定例会が12月16日から20日までの5日間にわたり開催され、藤里町子ども・子育て会議条例の制定や一般会計補正予算など上程された11案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇県道西目屋二ツ井線の荷上場バイパスについて

県道西目屋二ツ井線と県道矢坂糠沢線の分岐点から能代市二ツ井町荷上場までの区間が「県道西目屋二ツ井線荷上場バ

イパス事業」として、去る10月17日に平成26年度県新規事業として承認されることとなり、同月31日能代市役所二ツ井町庁舎において、当町と能代市二ツ井町の関係地区住民への事業説明会が県山本地域振興局の主催により開催されました。なお、12月下旬、事業の早期着工と早期完成が図られるように期成同盟会による知事等への要望活動を計画しています。

◇白神山地世界遺産登録20周年記念事業について

12月11日、世界最大規模の原生的なブナ林が顕著で普遍的な価値を有するものであるとして、白神山地が世界自然遺産に登録されてから20周年を迎えました。

今年度、県では記念事業実行委員会を設立し、オープニングセレモニーや記念シンポジウムを開催、また、能代山本4

市町で組織する「あきた白神広域観光推進会議」では白神感謝祭や白神周遊バスの運行を実施しています。

町では「世界遺産登録20周年」の冠をつけて例年のエコ・ツアー事業の拡充を図り、観光写真撮影ツアーを実施するなど、町制施行50周年事業と合わせて、毎月あるいは毎週、町のどこかで記念イベントを実施してきました。

8月9日早朝の大雨により、数々のイベントの中心になるはずでありました岳岱自然観察教育林へのアクセスが断たれ、代替案の実施にも苦慮しましたが、国、県、JRなど関係する機関の後押しもあり、ルートを変更しながらも一通り、事業を実施することができました。

今後は、今回の記念事業を糧に白神観光の誘客を図っていきたくと考えています。

◇白神山地観光の代替コースについて

去る8月9日早朝のこれまでに経験したことのない大雨により、県道西目屋二ツ井線の真名子ゲートから先が通行止め

となり、太良峠や岳岱自然観察教育林にアクセスできない状況が続いています。加えて、粕毛林道、大滝林道もあちこちで大雨による被害があり、安全が確保できないとの判断から、通行止めの措置が取られています。

秋田白神ガイド協会では、立入り可能な樺岱林道を中心に現地視察を実施し、高山のほかに5月の世界遺産登録20周年セレモニーの後に案内した抱合沢や樺岱登山道の途中のブナ平、若いブナ林がある水無地区を新しい散策コースとして検討することを確認しています。

白神山地は、これからオフシーズンになりますが、新たな散策コースを整備するためには関係機関との協議や手続が必要であり、来シーズンに向けて検討を続け、誘客に弾みをつけたいと考えています。

◇災害復旧に係る林野庁長官への要望について

去る11月20日、県道西目屋二ツ井線と黒石林道の早期の災害復旧について、林野庁に西目屋村長と合同で要望してきました。

当日は、林野庁長官と直に面会をし、県道法面の国有林や林道の被災状況を説明し、白神山地を観光するための重要な路線であることから安全確保のための工事を早期に実施するようにお願いしたものです。

また、同じように通行止めの状況にある小岳に通じる粕毛林道、大滝林道についても、災害復旧工事の早期実施とともに